

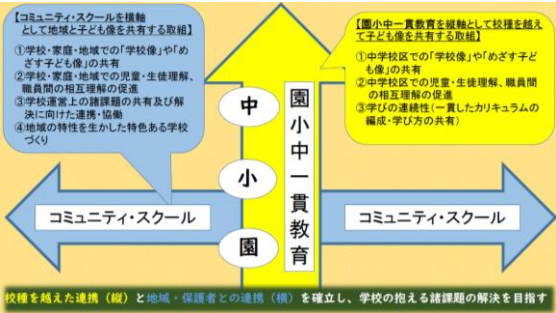
令和3年度 秦野市 コミュニティ・スクールの取組

1. 学校運営協議会 設置状況

- コミュニティ・スクール指定校 小学校7校 中学校4校
※ 内、小中合同での協議会が3校
- コミュニティ・スクール研究推進校 小4校 中1校
- 中学校区子どもを育む懇談会 9中学校区(園小中)
※ 地域学校協働本部の秦野市版としての位置づけ

2. 研修会等

- 令和3年4月15日(木) 第1回コミュニティ・スクール連絡協議会
各校の取組についての情報交換会
- 令和4年1月 7日(木) 第2回コミュニティ・スクール連絡協議会
講師:厚木市教育委員会社会教育課 社会教育指導員



3. 人的支援

- CSディレクター 2名の派遣
- 地域学校協働活動推進員の配置
- 主に学校運営協議会開催に係る事務手続き等を支援
- 学校運営協議会への参加
- 学校と地域の連絡・調整
- 研究推進校への研修会講師等
- 地域学校協働活動の計画・立案



4. 学校と地域が協働した取組の例

○子ども達の学びの深まり



地域住民や相撲部屋の方と一緒に土俵の修繕



「相撲」が総合の探究テーマに

○放課後の学習機会の創出

公民館と連携した放課後の学習支援教室を実施

学習支援とともに、子どもの放課後の居場所づくりにも



- 地域の見守り支援
- 学習ボランティア
- あいさつ運動
- 花植えボランティア
- 公民館事業との連携
- 地域の良さを子ども達に知ってもらう活動(八重桜)



5. 成果

- 学校運営について地域の理解を得ながら進めることができた。
- 保護者や地域の声・意見を聞くことができる貴重な場となった。
- 学校だけではできない取組により子どもの学びの充実につながった。
- 地域の中にある学校として、地域の思いも学校運営に生かしながら取組を進めることができた。

6. 課題

- 学校運営協議会での「熟議」を一層深めていくこと
- 学校運営協議会と地域学校協働活動の連携
- 地域学校協働活動の組織化・活性化
- 他課と連携した地域学校協働活動推進員の配置
- 教職員・保護者・地域に対する制度の趣旨の周知